



# 土地区画整理全国大会に参加しました。

群馬県 県土整備部 都市計画課



姫路駅前社会実験

令和5年11月6日～8日の3日間「第44回土地区画整理全国大会」に参加するため、兵庫県姫路市にいつてきました。姫路駅周辺では土地区画整理事業、連続立体交差事業、街路事業により“にぎわいとるおいにあふれた交流都市の形成”を目指すまちづくりが進められてきました。「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」を基本コンセプトに整備した姫路駅北口のキャッスルガーデン及び芝生広場(駅前広場)には、平日にもかかわらず多くの人が思い思いに過ごす風景が広がっていました。

姫路駅北口から姫路城までつづく大手前通りは、トランジットモール化やほこみち(歩行者利便増進道路制度)が実施されており、広々とした歩道空間に植栽やベンチがほどよく設置してあり、とても居心地の良い空間でした。また、姫路市ウォークアブル推進計画に基づき多くの社会実験が行われており、そのうちの一つ「Himeji大手前通りイルミネーション」を全国大会参加者のために試験点灯してくれるというサプライズのおもてなしもありました。



トランジットモール(進入禁止表示)



社会実験(デリロ)



Himeji大手前通りイルミネーション

ちなみに食べ物も、えきそば、ひねぼん、アーモンドバターなど美味しいものばかりでした。ぜひ姫路市に行った際は食してみてください。



# ほこみちインスパイアフォーラム2023に参加しました！

群馬県 県土整備部 都市計画課

2023年11月30日(木)に、東京都竹芝にて開催された国土交通省道路局主催「ほこみちインスパイアフォーラム2023」にま～ちいすから3名が行ってきました！このフォーラムでは、各地の様々な「ほこみち」の取組などの道路空間の活用について行政や民間の実践者等から紹介をいただきながら、人が主役の魅力ある空間について話し合います。

今年のテーマは「道はもっとカラフルでいい！」長崎や狛江、虎ノ門など各地の道路空間・広場等の活用法の紹介や「道路空間活用に関心を持つ若い人が増えている」という謎のみち活新世代現象？の分析、また子どもが安心して過ごせるみちの新しい可能性についてなど、数多くの登壇者による「ほこみち」の現在・未来についての様々な視点やアイデアが話し合われました。



入口に展示されていた各地の取組紹介

道路空間活用の新しい動きは、p2の前橋バルストリートや館林市での「ミチカツ」社会実験(令和3年度)、また県でも令和2年7月～令和5年3月に「歩道空間オープンテラス」社会実験の実施等、様々な取り組みが行われています。「ほこみち」を含むこれら道路空間活用について、今回のフォーラムで学んだ事を生かしていきたいと思ひます。



トークセッションの様子(子どもまんなかみちづくり・クライマックス)

